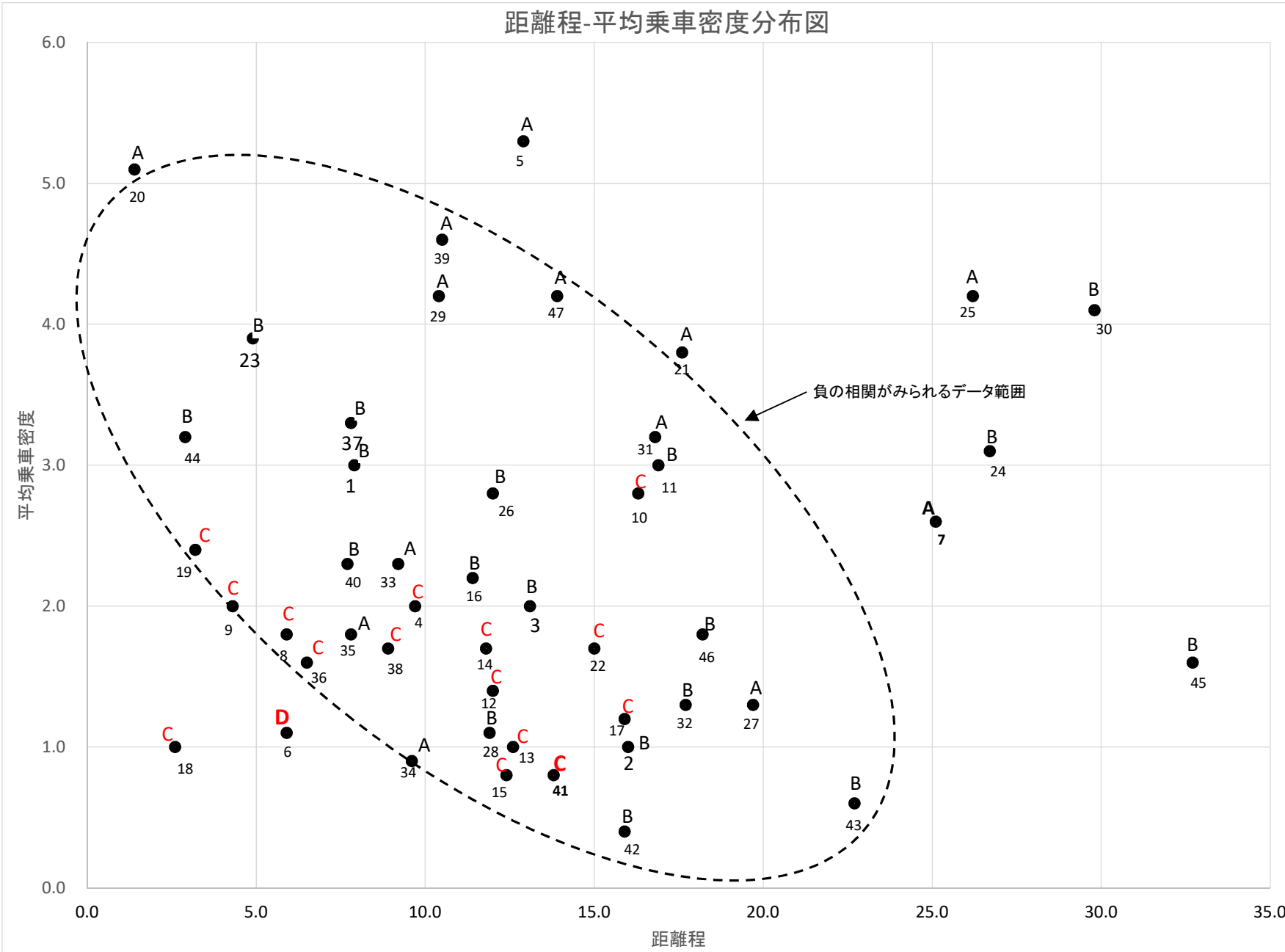


距離程と平均乗車密度の関係



No.	距離程	平均乗車密度	定量評価	路線名	経路等
1	7.9	3.0	B	岡崎	東岡崎～橋目～フタバ産業前
2	16.0	1.0	B	岡崎南市内(美合)	美合～東岡崎～市民病院～中央総合公園
3	13.1	2.0	B	岡崎市内(三河上郷駅)	岡崎駅～岩津～三河上郷
4	9.7	2.0	C	岡崎市内(三河上郷駅)	東岡崎～岩津～三河上郷
5	12.9	5.3	A	美合(羽栗)	東岡崎～美合～羽栗
6	5.9	1.1	D	美合(羽栗)	美合～羽栗
7	25.1	2.6	A	桜形	東岡崎～須渚橋～桜形
8	5.9	1.8	C	大樹寺・病院	市民病院～小呂町～大樹寺
9	4.3	2.0	C	美合・病院	美合～大平～市民病院
10	16.3	2.8	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	市民病院～東部地域福祉センター～富田病院～本宿
11	16.9	3.0	B	羽栗病院(美合病院・本宿)	本宿～富田病院～東部地域福祉センター～市民病院
12	12.0	1.4	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	本宿～富田病院～東部地域福祉センター～美合
13	12.6	1.0	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	美合～東部地域福祉センター～富田病院～本宿
14	11.8	1.7	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	美合～富田病院～本宿
15	12.4	0.8	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	本宿～富田病院～美合
16	11.4	2.2	B	羽栗病院(美合病院・本宿)	東部支所口～美合～市民病院
17	15.9	1.2	C	羽栗病院(美合病院・本宿)	市民病院～美合～東部地域福祉センター～本宿
18	2.6	1.0	C	本宿循環	本宿～緑町南～本宿
19	3.2	2.4	C	本宿循環	本宿～西本宿～本宿
20	1.4	5.1	A	本宿循環	本宿～豊興工業
21	17.6	3.8	A	くらがり	額田支所前～くらがり溪谷
22	15.0	1.7	C	くらがり	額田支所前～石原
23	4.9	3.9	B	くらがり(本宿・額田額田支所	本宿駅～額田支所前
24	26.7	3.1	B	大沼	東岡崎～岡崎北高前～大沼
25	26.2	4.2	A	大沼	東岡崎～大樹寺～大沼
26	12.0	2.8	B	大沼	東岡崎～岡崎北高前～上米河内
27	19.7	1.3	A	岩中	東岡崎～岩中～東岡崎
28	11.9	1.1	B	岩中	東岡崎～岩中
29	10.4	4.2	A	岩中	常盤田口～岩中～東岡崎
30	29.8	4.1	B	岡崎・足助	東岡崎～細川～足助
31	16.8	3.2	A	川向	東岡崎～川向
32	17.7	1.3	B	上郷	東岡崎～矢作橋駅～榑塚東町～東岡崎
33	9.2	2.3	A	上郷	榑塚東町～矢作橋駅～康生町～東岡崎
34	9.6	0.9	A	上郷	東岡崎～康生町～矢作橋駅～北野北口
35	7.8	1.8	A	岡崎・坂戸	東岡崎～矢作橋駅～坂戸
36	6.5	1.6	C	岡崎・坂戸	東岡崎～矢作橋駅～西岡崎
37	7.8	3.3	B	中之郷	岡崎駅西口～中之郷～東岡崎
38	8.9	1.7	C	岡崎・安城	東岡崎～安城駅前
39	10.5	4.6	A	岡崎駅・市民病院	岡崎駅前～図書館交流プラザ～愛知病院～市民病院
40	7.7	2.3	B	大門駅・市民病院	市民病院～小呂町～大樹寺～大門駅
41	13.8	0.8	C	額田支所・市民病院	額田支所前～市民病院
42	15.9	0.4	B	矢作循環	西岡崎駅～矢作橋駅～北野北口～西岡崎駅
43	22.7	0.6	B	矢作循環	西岡崎駅～アピタ～北野北口～西岡崎駅
44	2.9	3.2	B	矢作循環	矢作橋駅～西岡崎駅
45	32.7	1.6	B	矢作・市民病院	市民病院～矢作～市民病院
46	18.2	1.8	B	矢作・市民病院	矢作橋駅～北野北口～市民病院
47	13.9	4.2	A	矢作・市民病院	北野大沢～市民病院

◆分布図から読み取れること

- 1 上の分布図は、各路線の平均乗車密度を縦軸に、路線の距離を横軸にとり、プロットしたものである。
一般に、それぞれの軸要素の相関関係を調べることができる。とされている。
- 2 この分布図では、距離程が短いほど平均乗車密度は高くなり、距離程が長くなれば平均乗車密度は低くなっている傾向にある。
- 3 相関がみられるデータ群から、路線長の長い領域で上にずれている路線がある。
これらの路線は、本市の市街地を経由する広域路線であること。また、路線長は長くなるものの例えば、バス路線に代替する鉄道がないなどの理由で、バスが利用されていると思われる。
45の矢作病院線も領域から外れているが、この路線は市民病院を一往復する路線であり、実際の路線長はその半分の約16km程度と考えることが妥当である。
- 4 全体として、平均乗車密度が低いほど、評価結果も低くなっている。